

学習院大学史料館所蔵史料目録 第十六号

武蔵国秩父郡上名栗村町田家文書(五)

凡 例

一 本目録は、昭和四二年五月一〇日に町田雅男氏から学習院大学に寄贈された、武蔵国秩父郡上名栗村（現在の埼玉県入間郡名栗村大字上名栗）町田家文書の近世形状型文書のうち、経営関係文書の一部の目録である。

なお、町田家文書の近世冊子型文書の目録『学習院大学史料館所蔵目録 第八号 武蔵国秩父郡上名栗村町田家文書(一)』・『学習院大学史料館所蔵目録 第九号 武蔵国秩父郡上名栗村町田家文書(二)』に掲載できなかった冊子型文書も合わせて収録した（帳16件、綴14件）。

一 〈文書の分類〉

文書は主題分類を施し、さらに必要に応じて形態で分け、各分類ごとに年代順に配列した。文書の内容が複数の分類項目にわたる場合には、主たる主題と思われる項目に分類した。なお、年代のない文書は、整理番号順に配列した。

一 〈文書番号〉

一文書に一番号を原則とした。ただし、一括して保存されていたり、綴られていた文書で、一括の単位を重視した方がよいと判断した場合には、枝番号を付した。その際、枝番号の内でも多いものに合わせて主題分類したので、枝番号の内には違う主題の史料も含まれている場合がある。なお、枝番号は、確定できる年代の初年に合わせて編年している。

また、文書番号は近世文書の通し番号となるため、『学習院大学史料館所蔵史料目録 第十三号 武蔵国秩父郡上名栗村町田家文書(四)』からの続き番号である。

一 〈年代〉

作成年代を表記した。本紙の年記をとるが、推定できる場合は（ ）で補い、包紙からの情報は（ ）でとった。年号はアラビア数字としたが、晦日・大晦日は原文のままにした。極月も原文のままとしたが、年代が特定でき、閏か否かがわかるときには「12月」・「閏12月」と表記している。原文書に干支があり、年代が推定できる場合には、年代欄に（ ）で推定年代を表記した。また、写文書は内容年代を表記し、書写年代がわかる場合は（ ）で示した。

なお、年代欄に記入されていた干支をはじめ、「吉日」・「朝」・「濟」・「改」・「分」・「第」などの情報は省略した。

例

凡

一 〈文書名〉

文書の原表題を採ることを原則とした。ただし、原表題だけでは内容が不明瞭なもの、原表題がないものについては、目録作成者が必要に応じて（ ）で補った。（ ）表題内は、固有名詞以外は新字に直し、できる限り現代仮名遣いを用いた。

なお、本来別個体の文書が継ぎ合わされているものや綴られている形態のものについては、一つの文書を代表させ（ ）表題の外に「ほか」と表記した場合と、（ ）表題の前に例えば「譲渡証文＋流質地証文」のようにもとの形態を補った場合とがある。

また、複数の史料を写した一個体の文書は、表題の前に「証書類写」などと表記した。

一 〈差出（作成）・受取〉

旧字・作字は原文通りとしたが、敬称などは省略した。村名・組名・人名が複数の時には、その一つを代表させた。差出・受取とも補えるものは（ ）で補い、本紙に盛り込まれていない包紙の情報は「 」で補った。

一 〈形態〉

形態は、縦、横切、縦折、横切、横折、折、絵図、折本、包紙、袋、封筒、短冊、付札、札、板片、付箋、横帳、横半帳、綴などとした。ただし、今回の目録はこの一部しか使用していない。

その他、美濃判は縦二七―二八センチ以上を基準とし、「美」と表記した。横帳、縦帳が損壊し一紙になったものは、（横帳）、（縦帳）と表記した。

一 〈数量〉

数量は、一個体を一点として数えた。例えば、包紙と本紙が別々の個体の場合は二点と数えている。

一 本館では、近世は明治四年以前としているが、枝番号の関係で明治五年以降の文書が含まれる場合もある。

目次

経営関係文書 その1

土地経営

土地証文

譲渡証文……………

質地証文……………

書入証文……………

流質地証文……………

貼継証文……………

土地交換証文……………

その他……………

質地・流地関係……………

小作……………

土地境書上・絵図……………

家作・借地……………

その他諸書上……………

金融・貸借

借金証文

町田家差出……………

名栗町田家差出……………

江戸町田家差出……………

34

33

33

31

31

27

25

22

21

21

19

8

5

3

1

目次

町田家宛	35
名栗町田家宛	35
江戸町田家宛	41
親族間	43
その他	44
預り証文	45
その他貸借・返済関係	46
山林経営	
植林	53
入札・落札	53
立木売買証文	58
植分証文	59
売木証文	60
年賦売渡証文	62
買請証文	63
その他	63
その他山林書上類	69
人足	
山人足	84
人足全般	74
炭商売	97
諸商売（穀物売買など）	97

経営関係文書 その1

土地経営

土地証文—譲渡証文

文書番号	年 代	文 書 名	差 出	受 取	形態・数量
10595	天和3年4月2日	永々相定申手形之事(屋敷地高分金1両2分にて渡し) 進上申手形之事(二本柿と阿戸道下の敷の永代売り渡し証文)	地主馬之助ほか3名	(町田)左兵衛	豎 1
10596	元禄3年2月10日	進上申手形之事(二本柿の畑売り渡し)	手形主与右衛門ほか1名	(檀沢)五郎左衛門	豎 1
10597	元禄11年10月7日	手形之事(二本柿の畑売り渡し)	手形主五郎左衛門ほか1名	(町田)佐兵衛	豎切 1
10598	元禄11年12月5日	譲り渡し申畑手形之事(中川原の切畑)	地主庄三郎ほか3名	市三郎	豎美 1
10599	元禄13年10月21日	進上申添証文之事(元禄9年太兵衛より譲り受けの二本柿道下の畑譲り渡しにつき)	手形主栄仙ほか3名	(町田)佐兵衛	豎美 1
10600	元禄15年9月22日	譲り渡し申畑山手形之事(そとうわどみ山の切畑(後欠))	上名栗村之内森地主芳全ほか3名	(町田)佐兵衛	継 1
10601	正徳2年1月22日	証文之事(そとあどの杉山売渡しにつき(前欠カ))	証文主久通村福正寺ほか1名	名栗村(町田)八郎右衛門	継 1
10602	享保13年9月17日	譲渡シ申畑手形之事(豆口の畑)	上名栗村之内穴沢手形主三郎右衛門ほか5名	(町田)八郎右衛門	豎 1
10603	享保17年2月	譲り渡し申畑山証文之事(下々畑4歩ほか)	畑山譲り主源五右衛門ほか2名	(町田)八郎右衛門	豎 1
10604	享保18年11月28日	譲り渡し申畑手形之事(森川原の畑)	上名栗村之内森川原手形主又右衛門ほか3名	(町田)佐兵衛	豎 1
10605	延享2年6月1日	永々譲り渡し申畑証文之事(中畑6畝23歩)	畑主□□龍泉寺ほか7名	平馬之助	豎美 1

10625	享和2年12月	譲り渡申畑山証文之事(松の木坂の畑)	畑山譲り主権右衛門ほか6名	太兵衛	継	1
10624	寛政11年11月	譲渡申畑山証文之事(日影さすの畑)	山畑譲り主久次郎ほか7名	下名栗村甚五右衛門	継	1
10623	寛政11年2月	譲渡申地所証文之事(すきのか屋日向切畑)	地所譲渡人八三郎ほか3名	森定右衛門ほか1名	継	1
10622	寛政7年5月	譲渡申畑山添証文之事(字十橋畑山など)	畑山譲り主小物久左衛門ほか3名	(町田)浦之助	豎	1
10621	(寛政1年)5月	譲渡申畑山証文之事(湯之沢前下畑などの畑山のほか新田株共)	五兵衛ほか4名ほか	(町田)浦之助ほか1名	継	1
10620	天明8年11月	譲渡申畑山証文之事(字中さす下々畑5畝歩)	畑譲渡人弥左衛門ほか4名	中さす五兵衛ほか1名	継美	1
10619	天明6年11月	譲渡申畑山証文之事(野竹屋敷・はらすりの3筆分の畑)	畑山譲り主せみさす彦兵衛ほか4名	細ヶ谷四郎右衛門	豎美	1
10618	天明4年12月	譲渡申畑山証文之事(渡戸上の畑)	畑山譲り主八ヶ原甚之丞粹吉五郎ほか10名	湯の沢太左衛門	継	1
10617	天明4年8月	畑山譲渡申証文之事(国打沢の畑)	畑山譲り主庄八ほか3名	名主(町田)浦之助	豎	1
10616	天明4年1月	畑譲渡申添証文之事(大豆口の畑)	畑譲り主彦右衛門ほか4名	(町田)浦之助	豎	1
10615	天明2年11月	譲渡申畑山証文之事(字入澤の下々畑)	畑譲り主傳兵衛ほか7名	太左衛門	継	1
10614	天明2年2月	畑山譲渡申添証文之事(三右衛門より譲り受けの畑を譲り渡した旨)	竹沢彦兵衛後家畑山譲り主ゆうほか6名	上名栗村名主(町田)浦之助	豎	1
10613	安永7年9月	譲渡申畑山手形之事(くに打沢下々畑)	畑山譲り主穴山市太郎ほか4名	名主(町田)浦之助	豎	1
10612	安永7年7月	譲渡申畑山証文之事(字竹ノ内向の畑質流れの旨)	畑山譲り主兵左衛門ほか4名	名主(町田)浦之助	継	1
10611	安永5年9月	永代譲り渡申畑山証文之事(字小人見の畑)(反古)	畑山譲り主権八ほか5名	中谷戸治郎平	豎	1
10610	明和9年12月	譲り渡申畑山証文之事(竹之内上畑)(後欠)	畑譲り主嘉免八ほか3名	清兵衛	継	1
10609	明和7年1月	譲渡申畑山証文之事(長右衛門の畑)	畑譲り主長右衛門ほか7名	太左衛門	継	1
10608	明和6年9月	畑山譲り渡申流地証文之事(竹之内向切畑)	譲り主仙之助ほか3名	名主(町田)浦之助	継	1
10607	明和5年11月	譲り渡シ申畑山証文之事(小入日向の畑)	畑山譲り主勝右衛門ほか4名	古組百姓善九郎	豎	1
10606	延享3年8月5日	畑山譲り渡し申手形之事(小とち久保の畑)(前欠)	古組内森譲り主七助ほか3名	(古組)銀右衛門ほか1名	継	1

10641	文政5年10月	質地証文之事（六兵衛所持字はしばの畑質入れ）	下直竹村当人六兵衛ほか3名		繼	1
10640	文政4年12月	質地証文之事（地所・材木共質入れ）	上名栗村質入れ主岩次郎ほか2名		繼	1
10639	文化14年11月	質地証文之事（材木置場質入れ）	上名栗村質地主三之助ほか3名		繼	1
10638	文化10年12月	質地証文之事（切畑2畝6歩）	浅草今戸町田屋栄助		繼	1
10637	天明8年12月	入置申質地証文之事（甚之助欠落につき畑質入れの旨）	甚之助組合甚助ほか4名		豎	1
2		旨（境引き直し祝儀として新七方へ1両2分遣わしの旨）			切	1
1	元禄3年9月2日	しち物田地之事（小物の茶畑・切畑など質入れについて）	下名栗村地主武兵衛ほか2名		豎	1
10636						

土地証文—質地証文

10635		（山畑譲渡し証文）			繼	1
10634		（畑譲り渡し証文控）	譲り主代八、町田ほか	伝左衛門ほか	繼	1
10633	元治2年3月	遺所譲地証文之事（字なつちの畑地）	上名栗村譲り主（町田）安之助ほか2名	□代目（町田）軍蔵	繼美	1
10632	元治2年3月	譲渡畑地証文之事（字なつちの畑）	上名栗村譲り主（町田）安之助ほか2名	（町田）軍蔵	繼美	1
10631	元治2年3月	譲渡畑地証文之事（字なつちの畑）	上名栗村譲り主（町田）安之助ほか2名	（町田）軍蔵	繼美	1
10630	文久4年2月	遺所譲渡証文之事（字松葉入の山畑）	上名栗村新組譲り主吉田伴次郎ほか3名	母てつほか1名	繼	1
10629	文久4年2月	遺所譲渡証文之事（字松葉入の山畑）	上名栗村新組譲り主吉田伴次郎ほか3名	母てつほか1名	繼美	1
10628	天保7年3月	年賦売渡申証文之事（字名郷の畑）	年賦売主勘左衛門ほか4名	日野屋善七	繼	1
10627	文化14年8月	添証文之事（父四郎右衛門遺所の山神戸の杉300本の価として切畑譲り渡す旨）	地所渡人四郎次ほか3名	井戸入姉むめ	豎美	1
10626	文化6年12月	差出申証文之事（辰之助妹病死につき字竹ノ内の畑を譲り受ける旨など）	上名栗村死しま兄辰之助ほか5名	（町田）浦之助	繼美	1

10661			(字はしはの上畑質地証文写ほか)				継	1
10660	子年12月27日		(質地証文奥書)	名主町田瀧之助			堅切	1
10659	安政5年1月		質地証文之事 (字まへくぼ沢の山畑質入れ) (反古)	上名栗村質地主瀧之助ほか4名			継美	1
10658	安政4年7月		質地証文之事 (字ばんばろいとどの畑質入れ)				堅	1
10657	嘉永6年6月		質地証文之事 (字あらいなどの畑質入れ)	上名栗村流地主文次郎ほか8名	(町田) 瀧之助		継美	1
10656	嘉永6年6月		質地証文之事 (字あらいほかの畑質入れ) (後欠)				継	1
10655	嘉永4年8月		質地証文之事 (字小ものの畑質入れ) (反古)		(町田) 安之助		堅	1
10654	弘化2年12月		質地証文之事 (字にし向の山畑質入れ) (反古)		(町田) 安之助		継	1
10653	弘化2年12月		質地証文之事 (井戸入の畑質入れ) (反古)		(町田) 安之助		継	1
10652	天保9年5月		質地証文之事 (字ゆの沢の畑質入れ)	上名栗村質地主文四郎ほか4名	(町田) 安之助		継美	1
10651	天保8年11月		質地証文之事 (字いの沢の畑質入れ) (反古)	上名栗村質地主瀧次郎ほか5名	(町田) 栄次郎		継美	1
10650	天保6年5月		質地証文之事 (字いの沢の畑の質入れ) (反古)		町田栄次郎		継	1
10649	天保2年12月		質地証文之事 (字かじ窪などの畑質入れ)				堅	1
10648	天保2年6月		質地証文之事 (字名こふの畑質入れ) (反古)	上名栗村質地主国次郎ほか4名	(町田) 栄次郎		継	1
10647	文政13年8月		質地証文之事 (字栃平の畑質入れ)	上名栗村質地主馬五郎ほか4名	(町田) 栄次郎		継美	1
10646	文政12年11月		質地証文之事 (字あらいの畑質入れ)	上名栗村質地主重次郎ほか3名	(町田) 栄治郎		継	1
10645	文政11年8月		質地証文之事 (字かつつけやしきなどの畑質入れ) (反古)	上名栗村質地主茂兵衛ほか3名	(町田) 栄次郎		継	1
10644	文政9年12月		質地証文之事 (字はま上の畑山質入れ) (反古)		(町田) 栄次郎		継	1
10643	文政9年6月		質地証文之事 (字はた上の山畑質入れ、質地図あり) (反古)		(町田) 栄治郎		継・切2	
10642	文政7年10月		質地証文之事 (字おさんまへとの畑質入れ) (反古)	上名栗村質地地主勇助ほか3名	(町田) 栄次郎		継	1

土地証文—書入証文

10679	弘化4年6月	書入証文之事(字細久保の山畑を書入として金11兩2分借用)	上名栗村金借用人円次郎ほか1名	(町田)安之助	継	1
10678	弘化4年6月	書入証文之事(中道下などの山畑を書入として金4兩3分借用)(反古)	上名栗村金借用人繁次郎ほか2名	(町田)安之助	継	1
10677	弘化4年6月2日	書入証文之事(うつき平の山畑を書入として金10兩借用)(反古)		(町田)安之助	継	1
10676	弘化3年10月	質地書入証文之事(字てんく谷の畑山を書入として金10兩借用)	上名栗村机質地書入主源次郎ほか3名	(上名栗村)秋津幸次郎	継	1
10675	弘化3年2月	書入証文之事(下畑7畝6歩を書入として金4兩3分借用)(反古)	上名栗村金借入主繁次郎ほか1名	(町田)安之助	継	1
10674	弘化3年1月	書入証文之事(字細久保下畑24歩を書入として金1兩2分借用)	(柏木)代八ほか	(町田)安之助	堅	1
10673	弘化2年12月	書入借入金子之事(山畑などを書入として金4兩借用)(反古)	上名栗村金借入主熊太郎ほか1名	(町田)安之助	継	1
10672	弘化2年12月	書入証文之事(六沢の山畑を書入として金6兩借用)(反古)	上名栗村金借入主勘四郎ほか1名	(町田)安之助	継	1
10671	弘化2年12月	書入証文之事(下畑8畝12歩を書入として金13兩借用)	上名栗村金借入主由兵衛ほか1名	(町田)安之助	継	1
10670	弘化2年11月	書入証文之事(下畑3町18分を書入として金5兩借用)(反古)	上名栗村金借入主忠次郎ほか3名	(町田)安之助	堅	1
10669	弘化1年12月	書入証文之事(下々畑7畝17歩を書入として金1兩借用)(反古)	上名栗村借入主吉五郎ほか1名	(町田)安之助	継	1
10668	弘化1年12月	書入証文之事(切畑を書入として金6兩借用)	上名栗村金借入主与七ほか4名	(町田)安之助	継	1
10667	天保14年12月	書入証文之事(字楨之下などの畑山を書入として金7兩借用)	上名栗村借入主弥七ほか5名	(町田)安之助	継	1
10666	文政8年12月	書入証文之事(字もり下畑2畦27歩を書入として金2兩2分借用)	上名栗村□入主五人組新蔵ほか4名	(町田)栄次郎	継	1

土地証文—書入証文

10665		質地証文之事(雛型)			継	1
10664		質地証文之事(雛型)			継	1
10663		下書(質地証文)			継	1
10662		(質地証文)(不開)			(美)	1

10699	文久3年12月	山畑書入証文之事(下々畑2畝12歩を書入として金6兩借用)	上名栗村湯沢借用人彦次郎ほか2名	(上名栗村)秋津幸次郎	継	1
10698	文久2年12月	書入証文之事(字はしか原入の山畑を書入として金6兩借用)	上名栗村湯沢金借主常次郎ほか4名	(上名栗村)秋津孝次郎	継	1
10697	文久2年7月	書入申借用金之事(山畑上毛を書入として金1兩借用)	上名栗村借主馬次郎ほか2名	町田瀧之助	継	1
10696	文久2年7月7日	書入借用申金子之事(秋のヶ谷地所書入として金35兩)	上名栗村借主繁右衛門ほか1名	町田瀧之助	継	1
10695	文久2年6月	質地書入証文之事(字わらひ谷の地所を書入として金100兩借用)	上名栗村質地主十郎ほか2名	(上名栗村)平沼源左衛門	継	1
10694	文久1年12月	書入証文之事(字はしか原入の山畑を書入として金6兩借用)(反古)	高麗郡赤沢村金子借主源蔵ほか3名	(上名栗村)秋津幸次郎	継	1
10693	文久1年7月	質地書入金子借用申証文之事(大石沢の切畑を書入として金25兩借用)	上名栗村金借主傳蔵ほか3名	秩父郡上名栗村吉田伴次郎	包美・継	2
10692	万延1年12月	書入証文之事(字入沢の山畑を書入として金8兩借用)(反古)	上名栗村金借用人半三郎ほか5名	町田瀧之助	継	1
10691	安政5年9月	質地書入証文之事(小畑を書入として金3兩借用)	(上名栗村)借用人半三郎ほか5名	(上名栗村)徳次郎	継	1
10690	安政4年12月	書入借用証文之事(字たきの沢の山畑を書入として金15兩借用)	上名栗村金借主惣吉ほか3名	(町田)瀧之助	継	1
10689	安政3年2月	質地書入証文之事(字山下向の畑を書入として金25兩借用)ほか	上名栗村借主万蔵ほか3名ほか 吉ほか1名	(上名栗村)源左衛門ほか	継	1
10688	嘉永7年10月	書入証文之事(下々畑7畝17歩を書入として金3兩1分借用)(反古)	上名栗村百姓吉五郎跡組合引請人孝吉	(町田)安之助	継	1
10687	嘉永6年6月	書入証文之事(下々畑7畝17歩を書入として金2兩2朱借用)(反古)	上名栗村百姓吉五郎跡組合引請人孝吉	(町田)安之助	継	1
10686	嘉永6年6月	書入証文之事(字山口屋上の山畑を書入として金4兩1分借用)(反古)	上名栗村借主紋次郎ほか3名	(町田)安之助	継	1
10685	嘉永2年8月	書入証文之事(字のぐ引岩の山を書入として金10兩借用)	上名栗村金借主亀次郎ほか2名	(町田)安之助	継	1
10684	嘉永1年12月	書入証文之事(字たとふ沢の畑を書入として金2兩3分借用)(反古)		(町田)安之助	継	1
10683	嘉永1年6月	書入証文之事(字たつふ沢の山畑を書入として金9兩借用)	上名栗村金借主政八ほか1名	(町田)安之助	継	1
10682	弘化4年6月	書入借用証文之事(畑5畝14分を書入として金15兩借用)	上名栗村借主勇吉ほか3名	(町田)安之助	継	1
10681	弘化4年6月	書入証文之事(字たつら沢の山畑を書入として金8兩借用)	上名栗村金借主政八ほか1名	(町田)安助	継	1
10680	弘化4年6月	書入証文之事(山口屋上の山畑を書入として金4兩1分借用)(反古)		(町田)安之助	継	1